

# Campus Mail

For all the students

**FIT** Fukuoka Institute of Technology  
福岡工業大学

この件のお問い合わせは広報課へ  
TEL : 092-606-0607  
MAIL : kouhou@fit.ac.jp

掲示期間 2022-213  
2月09日～3月01日

古賀市 × システムマネジメント学科

## 地元企業と連携した課題解決 PBL

### シスマネ PBL 学生が企業や工場・倉庫の課題解決策を発表！

福岡工業大学と古賀市は、まちづくり推進や学術振興などを目的に 2014 年に包括的連携協定を締結し、産業振興や防災などについて様々な連携事業を展開しています。その一環として 2017 年度から、情報工学部システムマネジメント学科では古賀市及び古賀市内企業と連携し、企業の抱える課題をテーマに解決策を検討・提案する課題解決型学習（PBL：Project Based Learning）に取り組み、6 年目の活動となります。今年度は、古賀市に事業所を置く株式会社ナダゴシ様、株式会社ヒサノ様、株式会社増田桐箱店様、昭和鉄工株式会社様の 4 社と連携し、3 年生 17 名が企業ごとにチームを構成し、作業効率の向上や工場内の最適配置など、学科の学びと科学的手法やテクノロジーを活用した課題解決に取り組んできました。2023 年 1 月 18 日、取り組んできた成果を発表する場として成果報告会を開催し、PBL に取り組む 4 チームそれぞれが考えた課題解決策の提案を実施。成果報告会には、PBL にご協力頂いた企業と古賀市役所の方々 8 名に参加いただきました。



後列：PBL に取り組んだシステムマネジメント学科 3 年生 17 名 クラスサポーター学生 4 年生 1 名  
前列：左から、傳准教授、田嶋教授、古賀市商工政策課長 牟田口様、(株)ヒサノ 長澤様 社長 久保様、(株)ナダゴシ 社長 植木様、(株)増田桐箱店 社長 藤井様、昭和鉄工(株) 萩本様、小林准教授

各学生チームから、①技能継承を促す効果的な作業動画マニュアルの作成、②搬出作業の撮影動画から作業要素をソフトウェアで分析し、作業工程を効率化する提案、③工場内の大量な鋳型の管理・入出庫について利点・欠点を比較検証し、配置改善を決定するモデルの提案、④桐箱の製作において、従業員の業務経験数や国籍等に関係なく、工程手順の明確化と可視化を図るピクトグラムを付した作業タグの提案がありました。発表を聞いた企業の担当者様からは「課題を解決することは企業だけで取り組むのではなく、自治体と大学と一緒に検討することによって新しい発想が生まれるため、良い取り組みだと思います。」「企業の発展のためには現状分析と効率化の観点から管理工学、オペレーションズリサーチが必要なので今後とも一緒に磨き上げていけたらと思います。」とコメントを頂きました。

シスマネ PBL では、次年度も新 3 年生に引継いで取り組みを続けていきます。

(システムマネジメント学科、社会連携室)



前田情報工学部長 冒頭あいさつ



指導教員の小林准教授



学生が企業の担当者様に改善提案



各企業様より講評をいただきました